

製剤設計の基盤となる多様性広がる化合物の評価戦略Ⅲ

専門家による講義と実技指導を通じて、最適な原薬結晶形態の選択のノウハウ、原薬の物性評価の基本から製剤設計への応用までの知識と技能習得を行いました。

・講義



山本先生



米持先生



我藤先生



田村先生

- 講義1 製剤設計を見据えた物性研究総論 山本克彦先生（武田薬品工業）
講義2 分光学を中心とした物性評価法総論 米持悦生先生（星薬科大学）
講義3 経口吸収性を考慮した原薬形態選定・製剤設計 我藤勝彦先生（大塚製薬）
講義4 シミュレーションを活用した原薬形態・製剤設計物性 田村幸介先生（第一三共）

・実習

4グループに分かれ、4つの実習をローテーションしました。

結晶化の基礎と共結晶・多形スクリーニングへの応用
谷田先生、請川先生、高田先生（中外製薬）



A

高分子固体分散体制剤の合理的設計のための評価法
山崎先生、羽田先生、溝口先生（アステラス製薬）

製剤設計のための最先端の物性データ取得と解釈
西村先生、新井先生、山本先生、池田先生（武田薬品）



B

予測モデルによる原薬・製剤安定性の短期評価法
篠崎先生、田村先生（第一三共）



C



D

・企業プレゼンテーション

協賛企業13社の展示・プレゼンテーションを行いました。